

平成24年度 第3回中野市豊田地域審議会会議録

開催日時および会場 平成25年2月5日(火)午後2時～3時20分
中野市豊田支所2階大会議室

出席委員および欠席委員氏名

出席委員 ・佐藤秀彦・西野三恵子・林紘一・高橋剛太郎・傳田耕一・山口光左
・吉岡一美・北山和夫・清野竹子・小林日出夫・大内ふじ子

欠席委員 ・小林健一・西野薫・藤澤幸男

出席職員等 ・市長・総務部長・健康福祉部長・子ども部長・くらしと文化部長
・経済部長・建設水道部長・消防部長・教育次長・議会事務局長
・会計管理者・豊田支所長・地域振興課長
・地域振興課長補佐兼総務係長・地域振興課長補佐兼振興係長

議題および議事の顛末

1 開 会 【豊田支所長】

2 会長あいさつ

○佐藤会長： どうも皆さん、こんにちは。立春を過ぎた途端に急に暖かくなって、まだ2月なのかなあと、こんなふうにも思えるような、昨日、今日の天気でございますけれども、こんな中、本日市長さんをはじめ、関係の皆さんお集まりいただきまして、私ども2年間の任期最後の地域審議会を開催することができましたことに対して、心からお礼を申し上げます。

2年間、あっという間だというふうに思うんですが、本当に行政の皆さんからも多々説明をいただきまして、1個ずつでも、この地域の振興をしていけたかなと、こんな思いをしているところです。今日は最後でございますが、説明を十分いただき、皆さんから活発なご意見を出していただきますようお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願います。

3 市長あいさつ

○市長： 皆さん、こんにちは。豊田地域審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

この審議会のいわゆる発足の経緯等につきまして、勉強させていただきまして、どんな感じで、どういう趣旨で出来上がったものかという事を、いろいろ勉強させていただきました。その設置の目的等々についても、十分理解をしております。こうした会議が、ずっと皆さんの力で、また、お力添えによって、これまで継続されてきたことに関して敬意を表したいと思います。

今日は、たまたま日差しが強くて天気も良くて、寒さも若干和らいていますが、リンゴの剪定が始まったというふうに伺っています。しかしながら、ちょっと天気予報によりますと、今日上雪ですか、東京の方では今夜あたりから、大雪の予想が出ていると聞いております。まだまだ、予断を許さないような天候が続くかと思いますが、そのような中で、インフルエンザも流行っております、お体には十分気を付けて、作業等をしていただければと思います。

また、本日は本年度最後の、委員の皆様の任期最後の、豊田地域審議会であるということで伺っております。今日までの2年間、大変ご苦勞いただきましたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

本日の会議は、豊田地域の振興に関する意見書について、昨年12月末現在の状況を時点修正したものについて、説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

豊田地域の振興と、中野市のさらなる発展に向けまして、ご理解とご協力をお願いを申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○豊田支所長： ありがとうございます。

それでは、地域審議会の設置に関する協議書第7条第4項の規定によりまして、「会議の議長は、会長がこれに当たる」となっておりますので、佐藤会長、議事進行をよろしくお願いいたします。

4 会議事項

(1)「豊田地域の振興に関する意見書」に係る事業進捗状況について

○議長： それでは、会議事項の(1)「豊田地域の振興に関する意見書」に係る、事業進捗状況について、議題といたします。

お手元に配布してあります、資料1の「豊田地域の振興に関する意見書 回答」の、回答部分の進捗状況について、順次、関係所管部長より説明をお願いしたいと思います。主に、昨年6月28日に開催いたしました、第1回 中野市豊田地域審議会の際に、お示しいただいた資料から、変わった所について、ご説明をお願いいたします。

なお、第1の総論につきましては、日々の行政運営の中で対応して

いただいていると思いますので、「第2 地域資源の活用と産業振興策の推進」より、説明をお願いいたします。

最初に経済部長さん、説明をお願いします。

○経済部長： それでは、第2の地域資源の活用と産業振興策の推進の部分につきまして、ご説明申し上げます。

ひとつめの農産物の地産地消の推進及び観光農園・農産加工品の開発等、農業と観光の連携策を促進されたいという事でございます。

6月に申し上げた部分と重複する部分がございますけれども、すでに経過として今年度取り組んできた部分もございますから、その辺のところも複合させていただくという事で、ご了解をいただきたいと思っております。

地産地消の推進のために、料理コンクールあるいは食農フォーラムを行ってきているところでございます。料理コンクールにつきましては、すでに募集を行って、いくつかの最優秀作品を決めさせていただきました。

また、食農フォーラムにつきましては、2月11日に予定してまして、コンクールで優秀だった料理等を、召し上がっていただく準備をしているところでございます。新年度以降も実施をしていくという事です。

また、こちらで栽培されております、伝統野菜の「ぼたんこしょう」につきましては、販路拡大、新商品開発の支援という事でございます。例えば商談会等にご出席をいただいたり、あるいは、実需者等の方々が市の方へご紹介いただきますから、生産者の皆さん、生産グループの皆さんをご紹介させていただいたりしている経過がございます。

また、農商工連携につきましては、主に研修会を行っているところでございます。すでに、6月と1月にそれぞれ研修会を開催させていただいており、それぞれ事業を行う、生産者の皆さんはもちろんでございますけど、加工事業等を行う方々にも出席をいただいて、勉強等をしていただいているところでございます。

また、新しい取り組みという事になりますが、今年度、関係団体が参加をいたしまして、産地・観光PR研究委員会というものを設置をいたしました。PR用のシンボルマークを作成したり、全国に募集をかけ、結果的には海外からも応募いただいたわけでありまして、800点ほど応募いただいて、最終的にいま最後の審査の詰め、いろいろな手続的な問題がございますから、そこら辺の詰めに今やっております、年度内にはシンボルマークの公表をしていきたいというふうに考えているところでございます。

また、そのシンボルマークを使ったPRに努めるわけですが、情報発信という事で、地産地消推進店支援事業というものを、今年度、シンボルマークが決まった際に、のぼり旗等を作成して、お店にご協力いただくという事も、いま準備を進めているところでございます。

なお、観光資源として、赤坂農村公園・ドッグラン等も地域資源も、ご活用いただければというふうに考えているところでございます。

ふたつめの、農業者の高齢化対策、後継者育成、遊休荒廃農地解消に向けた集落営農組織の育成や法人化等の促進を図りたいということでございますけれども、特に豊田地域における、高齢化対策あるいは荒廃農地対策につきましては、国の制度ではございますけれども、「中山間地域直接支払制度」を取り組んでいただいております、協定数では13、受益面積56.1haを取り組みをいただいているという事で、有効に活用をいただいているところでございます。

また、中山間地域直接支払制度にならない対象地域につきましては、従来上今井地区だけだったわけですが、今年度替佐地区におきまして、農地・水保全管理支払交付金事業を取り組んでいただいております。他の地区でも、そういったところがあれば、ご支援を申し上げていくわけですが、協働作業で草刈りあるいは基盤の維持等を進めていただいているところでございます。

また、産業公社におきましては、農業支援係という部署もございまして、農作業支援者の紹介、機械作業受委託などの仲介等をさせていただいているところでございます。

また、集落営農組織につきましては、古川地籍にある古川営農再生組合、今年度で4年目を迎えているところでございまして、ご支援等を申しあげてきた経過がございます。

また、後継者育成につきましては、主にJAさん、あるいは地域の農業委員さんを中心とした、市農業再生協議会等と連携をしていただいて、国が定めております青年就農給付金、年間150万円支給される訳でございますけど、その支払いの段取り、あるいは、市が独自で行っております新規就農者支援事業、そういったところをご活用していただいて、新規就農者あるいは地域の後継者確保に努めていきたいという事でございます。

それから、今年度から、農業関係者の皆さんはご存じかと思っておりますけど、いわゆる人・農地プランというものが策定をしながら、この地域の、このと申しますか、それぞれの地域の農業振興を進めるんだという国の制度が創設されてございまして、先ほど申し上げました青年就農給付金などは、そういったプランに掲載されていることが、頑張る

んだという地域の中心となるという事で、位置づけされているという事で、そういった青年就農給付金が交付されるという状況もございますから、そういったところを地域の話し合いでいろいろと進めていただければというふうに考えてございます。

この人・農地プランにつきましては、中野市全体を 10 地区に分けてございまして、この豊田地域でもすでにプランは出来ております。当然いくらでも変更は可能、皆さんの話し合いで変更は可能でございますけれども、現在、策定されましたプランの中では、この地域では中心となる経営体は9組と言いますか、9団体と言いますか、そういった事で地域の中心となる経営体という事で位置づけをさせていただいているところでございます。

次のページの3番目の、中山間地域の農林業に対する有害鳥獣被害に対し、電気柵、オリの設置等の対策について、助成範囲の拡大を図りたいという事でございます。

電気柵の設置につきましては、国の交付金要綱に基づいて、原則3戸以上をお願いしているところでございますけれども、どうしても地形あるいは、周辺の状況によって3戸にならないような場合は、市の単独でご支援を申し上げてきている経過がございます。

また、オリの設置等につきましては、状況に応じて猟友会の皆さんにお願いをして設置をしてきているところでございます。平成 24 年度豊田地域につきましては、延べ6カ所オリを設置した経過がございます。残念ながら猟友会の皆さんの高齢化が進み、会員の減少が年々進んでおりまして、私どもとすれば、出来るだけ会員の皆さんの確保に努めているところでございますけれども、現時点ではなかなか右肩上がりというような状況になっていないのが実情でございます。

なお、電気柵につきましては、この地域では平成 22 年以降3カ所の電気柵を設置をさせていただいておりますし、豊田地域の猟友会の会員、市全体で見れば、36人いらっしゃいますが、豊田地域ご出身の方は7人という事で、いろいろご苦勞をいただいているという経過でございます。

第2の関係については、以上でございます。

○議長： ありがとうございます。ただいま第2地域資源の活用と産業振興策の推進について、説明をいただいたわけですが、これに対して皆さんの方から何かご意見ご質問等ありましたら、お出しをいただきたいと思っております。

皆さんの方から何かないですか、よろしいですか。

ご意見ご質問がないようですので、次に進めさせていただきます。

それでは、第3のふるさとの自然環境の保全について説明をお願いいたします。くらしと文化部長さんの方からお願いいたします。

○くらしと文化部長： (1)の高野辰之作詞の唱歌のイメージに沿った自然環境の保全と整備についてでございますけれども、千曲川兩岸の産廃処理事業者への指導については、県と市が主導して、毎年開催している地元区と関係業者との連絡会を、本年度につきましては、2月27日に開催する予定でございます。今後も、継続していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

それから、●●●における産廃処理施設についてでございますけれども、現在のところ、特異な動きはありません。今後、動きがありましたら、状況に応じて情報提供を行っていきたいと考えております。

それから、以前から、ご心配をおかけしております、千曲川右岸の山積みにされた配管の関係でございますけれども、●●●●から●●●●に引き継がれまして、その処理が今年の7月2日に完了したという事で、市におきましても、現場を確認してございます。いろいろご迷惑をおかけしました。よろしくをお願いいたします。

○議 長： ありがとうございます。
続いて、経済部長さんより説明をお願いします。

○経済部長： (2)の斑尾山麓に市民が森林浴を楽しめる遊歩道やトレッキングコースの整備という事でございます、平成6年、7年にかけて、整備をしてきているところでございますけれども、平成22年、23年度、国の事業を活用して、改めて整備をさせていただいたというところでございます。

なお、今年度につきましては、そういった事業がございませんでしたので、市の一般財源等を使いまして、遊歩道のマップの作成、あるいは案内看板の設置、また斑尾高原体験交流施設「まだらおの湯」でございまして、信越トレイルとの連携を図りまして、観光資源として有効活用できるよう努めてまいりたいと思っております。

なお、引き続き、それぞれ危険箇所の点検等、その都度その都度させていただいております、草刈り、倒木の除去等を行ってきたところでございます。以上でございます。

○議 長： ありがとうございます。ただいまくらしと文化部長さんと、経済部長さんのお2人の方から説明をいただいたわけですが、ここで、こ

のことについて、皆さんの方からご意見やご質問がありましたら、お願いしたいと思っています。

何か皆さんの方からないですか、よろしいですか。

ないようですので、次に移りたいと思います。

第4 魅力ある定住環境と社会資本の整備について、説明をお願いいたします。それでは、建設水道部長さんお願いいたします。

○建設水道部長： 第4の魅力ある定住環境と社会資本の整備、その1でございますが、国・県道などの主要幹線道路のしゅん工に向けて早期実現を図られたい。という内容でございます。

これにつきましては、ここの所を書いてございますとおり、今年の11月1日に北信建設事務所において、また10月22日に長野県建設部の方に、要望活動を会長さん共々させていただいております。

そして、事業区間等の国道117号バイパス、これについては、豊田飯山ICから替佐間につきましてはなんですが、これにつきましては、ご承知のとおり、先日、土地収用法に基づく事業説明会が開催されました。と申しますのも、なかなか任意の交渉に乗り上げているという状況の中で、県の方でも早期に開通に向けて、土地収用法に基づく、手続きの準備に入っているという事で、2月2日に、その事業説明会が豊田公民館において開催されております。

ふたつめの三水中野線、栗林～上今井橋間につきましては、24年度が道路の嵩上げに先行して、ボックスカルバートの整備、あるいは埋文調査を実施しております。

また、豊田中野線につきましては、笠倉側につきましては、現在、遺跡調査中、また壁田側につきましては、用地取得に向けて、用地測量を今年度実施していると。

そして、よつつめの飯山妙高原線につきましては、斑山線がある方、親川の集落の信濃町側の方と申しますか、そちらの方で一部工事を実施していただいております。

また、一般県道南永江替佐停車場線につきましては、24年度は、23年度の繰越事業として終えました穴田地籍の道路拡幅を実施していただいております。

次にふたつめの、千曲川の無堤地区、また、碓地区の護岸対策の整備促進、及び内水問題の解決についてという事で、これにつきましても、7月の3日に千曲川河川事務所、また7月の5日に北陸地方整備局、そして7月の6日には、国土交通省ならびに、地元県選出の国会議員の皆様にご要望をしております。

また、11月2日には、替佐地区築堤推進委員会、笠倉地区築堤委員

会、上今井区で、河川事務所の方に要望活動をしてございます。

なお、築堤の状況でございますが、千曲川の方の(2)替佐築堤につきましては、現在JRの関係の橋梁改築中でありまして、平成25年度事業完了を目指して進めていると、また笠倉の築堤につきましても、25年度完了予定で、進めております。

また、立ヶ花の狭窄部の河道掘削という事で、24年度も河道掘削を実施しております。説明について以上でございますが、よろしく願いいたします。

○議 長： ありがとうございます。
続いて、総務部長さんから説明をお願いいたします。

○総務部長： それでは、6ページの(3)の関係でございますが、豊田地域に若者が定住し、又は市外から人が移り住み、人口の維持が図られるような支援策を検討という事でございますけれども、いま大変田舎暮らしという事が、近年クローズアップされています。そんな事から、以前から長野県が推進母体となっている、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会という協議会に中野市も加入をしまして、都市圏からの移住や、交流の促進について進めてきているところでございます。

また、豊田地域につきましては、唱歌ふるさとに表されるような、文字通り、ふるさと景観を有しており、さらにはJR飯山線が走っているほか、高速道路のインターもございます。そんな事から、更なる可能性があるということの中で、ホームページによる情報発信や、県外での交流会、またパンフレットの送付などを行ってPRをしてきているところでございます。

また、この件につきましては、市長の方からも積極的に推進すべきものという事で、意欲的なお考えをお聞きしております。そんな事の中で、ますますこの交流手段につきましては、市の重要な施策になっていくというふうに考えますので、それぞれ総合的に進めてまいりたいと考えております。

次に(4)JR替佐駅についての利用促進、利便性の向上の関係でございますけれども、市の総合的な交通施策であります「中野市地域公共交通総合連携計画」というものがございますけれども、これに基づいて市の交通政策を行っております。JR、長野電鉄、長電バス等々、それぞれ進めておるところでございますけれども、JR飯山線につきましては、公共的な広域交通の骨格として位置付けております。特に替佐駅につきましては、鉄道と路線バスのいわゆる繋がる所、結節点という事で、拠点駅というふうに位置付けているところであります。

また、基幹バス路線の永田線、これにつきましては、今は全便親川まで延伸をして発着をしていますけれども、替佐駅でのJR飯山線との接続を最優先にダイヤ改正してきているところでございます。

それと、豊田地域にはふれあいバスという事で、三俣から永田、穴田～替佐を通り上今井まで、ふれあいバスが走らせておりました、それぞれ利便性の向上を図っているところでございます。

替佐駅の周辺につきましては、駐車場の関係でございますけれども、以前からこの会議でもご説明申し上げてきておりますけれども、それぞれ民間の駐車場、区の駐車場等が整備されておりますので、今現在、市内の各駅とのバランスを考慮しますと、さらなる駐車場の整備につきましては、市としては考えておりませんので、よろしく願いしたいかと思っております。

JR飯山線、それとバス路線につきましては、利用率を上げていただく、そして維持していく、そういった事が大きな課題となっております。地元の皆さんにも、ぜひ利用促進の方を、ご理解いただきたいと思っておりますので、併せてお願い申し上げたいと思っております。以上です。

○議 長： ありがとうございます。

それでは、続いて、建設水道部長さん、お願いします。

○建設水道部長： それでは、(5)ですが、豪雨時における土浮地籍の排水路について、排水処理容量が不足しており、災害が頻発する恐れがあるため、総合的な排水対策を検討されたいという事で、これにつきましては、特に水が集まってきます、替佐駅の南側の踏切の所の西側の方を、平成23年度に一部排水路の改修を、また24年度に、踏切から東側の排水路について、改修をさせていただいているというような状況でございますので、よろしく願いいたします。

○議 長： ありがとうございます。ただいま、第4の魅力ある定住環境と社会資本の整備について、説明をいただいたわけでありまして、これについて、皆さんの方からご意見ご質問等ございましたら、お出しいただきたいと思っております。

はい、●●委員。

○委 員： ●●です。いつもお世話さまでございます。

あの1点、建設水道部長さんにお聞きしたいんですが、(1)の大型事業でございますが、先ほど説明がございましたように、国道117号バ

イパスについては、土地収用法の説明会があって、これから進められるということで、ございますが、2、3、4番については、なかなか進展が見られないわけでございますが、今後の見通し、分かる範囲で結構でございますので、見通しが無いと言われれば、それまででございますが、何か見通し的なものがあつたら、説明願いたいと思うんで、よろしく願ひいたします。

○議 長： はい、建設水道部長さん。

○建設水道部長： 国道117号バイパスの方につきましては、2月2日の説明会において、収用法に基づく手続きを、今年の春から進めて、これについては、3年ほど手続きがかかるということで、ご説明を聞いてございます。

そして、三水中野線の方についてでございますが、栗林から上今井橋間につきましては、先ほど、ご説明を申し上げたとおり、24年度については、ボックスカルバートを敷設して、埋文の調査中と。その埋文の調査中等がございまして、具体的な完了年度については、ちょっと県の方からも明確には、ちょっとお聞きしていないと。ただ、継続してやっておりますので、その辺については、ご理解をお願いしたいと思います。

また、3番の豊田中野線でございますが、これにつきましても、笠倉の方の埋文調査について、範囲が広いということから、25年度まで埋文調査がかかっていくというようなことございまして。また、壁田側につきましても、25年度から、用地買収に着手したいという前提で、今年度用地測量を行なっているということでお聞きしておりますので、その後に、また調査等もあるかと思っておりますので、このへんについても、県の方から具体的に、何年度を完成を目途ということは、具体的にお聞きをしてございません。

そして、飯山妙高高原線につきましては、来年度につきましては、先ほど今年度24年度につきましては、親川の信濃町側の方を進めるということで、25年度については、その斑山線側の上を引き続いて、やっていきたいというようなこと、お聞きしてございますので、よろしく願ひいたします。

○委 員： はい、ありがとうございました。はい、結構です。

○議 長： はい、他にご質問ご意見。はい、●●委員どうぞ。

○委 員： ●●です。よろしく願ひいたします。

(2)番、千曲川の無堤地区の…という事で、上今井地区の無堤地区の話で、ございますけれども、ここにも書いてありますけれども、千曲川河川事務所または地方整備局、国土交通省の方へ、中野市さんを中心に、呼びかけをして要望しておるところなので、ありがとうございます。

そういう中でおきましても、上今井地区には非常に無堤地区がありまして、非常に千曲川が増水した時には、本当に人家というかね、住宅へ水が入るといふ中でありまして過去においても、ご存じの通りであります。その度に、我々がボランティアが、やっておるところであります。ぜひとも無堤地区を、解消していただきたいと、一日でも早く、そんなように、ここにも書いてありますけれども、要望するところでもありますので、ひとつ再度強力に要望していただければ、幸いかなとこんなふうに思います。お願いいたします。

だいたい見通しとかそういうものはどうですかね。

○議 長： はい、それでは建設水道部長さんよろしいですか。

○建設水道部長： 上今井地区の、左岸の堤防についてで、ございますけれども、これについて、下流側の方について無堤地区になってございまして、これについては●●委員さんもお承知の通り、千曲川河川事務所、国土交通省の方に粘り強く、要望を続けていきたいということで考えていますので、よろしくお願いいたします。

○議 長： はい、●●委員。

○委 員： 見通しとしては、どうですかね、ちょっと見通しが少ないとか、多いとか、見通しが明るいとか暗いとか、どうですかね。

○議 長： 建設水道部長さん、いいですか。

○建設水道部長： いま現在、ご承知の通り無堤地区の向こう側で、河道掘削を進めておりまして、これについて、河道掘削に伴いまして、河川の断面が広がってくるだろうというような事が一つと、また盛んに、先ほど、ご説明させていただいたとおり、替佐、笠倉の方で、築堤工事を進めているという事で、下流の築堤のバランス等もございますので、このへんについては、ご理解をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

- 委員： はい、よろしく申し上げます。1日も早い無提築堤の改修を、お願いしたいと思います。
- 議長： よろしいですか、他に皆さんの方から、何かご意見ご質問がありましたら。
はい、●●委員どうぞ。
- 委員： ●●です。いつもありがとうございます。私、お聞きしたいんですけども、2ページ方の農業者の高齢化、それから後継者育成に関わって、6ページの、若者定住ということなんですけれども、ここに(政策)情報課の方では、田舎暮らし楽園信州ということで、加入して盛んにPR活動をなさっていると思うんですけども、この時の内容につきまして、いま農業の方も、真剣に今国の方でしてまして、年間150万余りの方と、また市でも助成してくれるという事なんですけれども、こういう地区、中野市には、こういう荒廃地がたくさんありますので、そういうところの方でやっぱり農業がきちんと、たくさんできるような、そういう部分の方も少し、田舎暮らしの方に来た時の方に、PRをやっているのかどうか、お聞きしたいという事と、ふれあいバス関係の方ですけども、利用促進に努めていきますということですけども、このへんにつきましては、どのような、飯山線と言うんですか、バスの方の利用者が増えたのかどうか、もしお分かりでしたら、そのへん言っただけいたら嬉しいと思いますけれども、よろしく願いいたします。
- 議長： はい。あのふれあいバスなんだけれども、どなたにお願いします。
- 委員： 総務部長さんですか。
- 議長： それでは、総務部長さんお願いします。
- 総務部長： それでは、最初の関係の楽園信州の関係でございますけれども、この取り組みにつきましては、かなり幅広い効果を狙った活動でありまして、一つは文字通りこの地域の農産物や特産の関係の知名度、ブランド力がアップするように、それに伴って、消費量が増えるようにという事もございますし、また、先ほど申しましたように、非常にクローズアップされている故郷への回帰、帰ってくるそのようなもの、あるいは都会から田舎へ移住する、都会にも住居を持ち、こちらにも住居を持つというような、異地域居住というようなものも、生活のライ

フスタイルとして、かなり浸透してきておりますので、そんなような事も狙って、こういった促進を図っているところでございます。いろんなところに関係しますけれども、先ほどの農業に帰ってくるというんですか、援農と申しますか、そういった事の中で、遊休荒廃地の改修についても、効果があげられればというような、そんな形で進めているところであります。

それから、2点目のバスの関係でございませうけれども、いま手元の資料、替佐駅と上今井駅の利用者数しかないわけでございますが、替佐駅の利用者数につきましては、大体120人から130人で推移してきていると。21年は122人、22年は123人、23年がやはり125人という事で、120人台で、ほぼ横ばいで推移してきています。

また、上今井駅の関係ですけれども、大体その約2倍になりますか、21年度が235人、22年度が250人、23年度が244人という事で、大体230人から250人と、そんな事で推移してきているということでございます。

手元に、バスの利用状況等、今日は持って来ていなくて、申し訳ないんですけれども、それぞれ、ふれあいバス等につきましては、市の方で推進していますけれども、ご利用いただいているというふうに、見守っております。

○委員： はい、どうもありがとうございました。

やはり、こういう議題については、マイナスといいますか、バスの件については減るのではないかと思っていたんですけれども、推移減らないで若干増えるっていうだけでも、本当にいろいろ努力されていることがうかがえました。ありがとうございました。

また、今後もよろしくお願ひしたいと思っておりますけれども、ありがとうございました。

○議長： はい、よろしいですか、他に、はい、●●委員どうぞ。

○委員： はい、●●なんですが、先ほど、まとめてお願ひすればよかったわけでございますが、途切れ途切れで申し訳ないんですが、5番の道路河川課の、替佐地区の内水処理につきましては、手際よく進めていただいて、本当に感謝しているところでございます。

あと、1カ所なんとか開渠にしてもらえれば、末広の所に溜まる水についても、何とか解決できると思っているので、ぜひ引き続き力を入れていただきたいので、よろしくお願ひします。

それから、もう一点でございませう(4)のJR替佐駅についての関連

したお願い質問でございますが、実は替佐地区といたしまして、この替佐城址の整備保存ということで実行委員会といいますか、会を立ち上げまして、会員がいま160名ばかりで、去年から手入れをしております、それも立ち上げにつきまして、いろいろ市の方から、アドバイスをいただいた中で、教育委員会等のお力添えもいただいた中で、進めておるわけでございますが、このたび元気作り支援金を、県からいただけるようになりまして、これにつきまして、秋から事業を進めておるわけございまして、本当にお力添えいただいて、感謝しているところございまして、その中で、政策情報課の方から、維持管理それから再生機という事で、取り組んでおる中で、この飯山線並びに替佐駅を利用した中で、替佐城址それから道の駅とか、温泉公園とか全部ひっくるめた中でルートを作って、何かイベントを1年に何回か催してというアドバイスを、実は受けているところでございますが、いちどきに何でもかんでも手をつけるという訳にもいかなかったもので、これから順に年を追って、実行して参ろうかと思っておるところでございますが、ここでも、新幹線の開通がすぐ目前に迫っておりまして、飯山市を中心とした中で、近隣市町村で、何とか会というものを持ち上げられた中で、取り組んでおられるように聞いてもおります。そんな中で、やっぱり裏日本の方から、長野県に訪れる観光客の皆さんにすれば、この北信の大観光資源のある北の玄関口というと、飯山駅になるんだろうと思いますが、そんな中で、ローカル線の活用とか、しいては替佐駅の利用促進とか、いろいろなものにも、結び付けられるんじゃないかっていうふうに考えるので、お聞きしたいですが、新幹線の開通に合わせた中で、そこらへんの取り合わせをどんな構想を持って、市としては進められておるのか。飯山の方の話しを、人を介した話しで聞いておりますと、根っから中野市の皆さん、力入っていないような話しを、飯山の人から言われるんですけども、そこらへん、市長さんせつかくおられるし、総務部長さんとお二方に、そのへんのご意見をお伺いしたいと、こんなふうに思って、よろしく願いいたします。

○議 長： はい、市長さん先に。

○市 長： すみません座ったままで。あの実は、信越9市町村による広域、まあ自然協議会みたいな形でですね、これから観光の開発、連携が始まるんですけども、その中でやっぱり飯山駅ができた時に、ここ（替佐駅）はJR線、JRの駅という事で、この2つの駅をちょっと活かしたいと、私は個人的には思っています。

玄関口としては、こちらの豊田に入る道と、もう一つ岩井東から向こうに入って行く、2つのルートが考えられると。このルートを結び付けたいと、ずっと思っていました、人流を考えて、飯山駅で降りてもらってJR線に乗り換えて、ローカル線ですね、長野駅に向かうルート、それから向こうから来た場合には、長野駅からJRで、こちらに流れ着くルートで、もう一つ皆さんとは、関わりがあるかどうかなんですけれども、上今井から高丘の丘陵の方に、公園の方にですね、人を歩かせるような構想も、ちょっと持っていたいなど、思っているんです。

皆さんの方から聞くところによれば、替佐駅を降りて、高野辰之記念館の方へ歩かれる方もいると、お聞きしておりました、最近流行のトレッキングとか、トレイルとか、そういった私たちが、普段思っていないような感覚で来られる、若い人たちとか、中高年の方がいらっしゃるといふことで、そういうことも呼び込んでいきたいという構想もございます。

これからはちょっと、9市町村がとなった場合に中野市の資産というものを、もう少し、先ほどおっしゃっていただきましたけれども、ルートを繋げていくっていう形で、まさに道のロードストーリーなんですけれども、ロードストーリーをたくさん作って、それらを情報として提供してくという事が、繋げるっていう事に、私は思っていました、中野市にはそういう繋げる、今まで繋ぐという感覚がなくて、むしろあったのは施設が、飛び飛びに建っているっていう感じで、点で構えていたんですけれども、これをロードストーリーを作ることによって、繋げていくという作業をやりたいと思っています。

その情報をもって、外へ向かって発信していきたいというふうに考えておりますので、飯山市に負けないように、逆に飯山の方は、中野市のそういった観光資源とか、これからの展開に対しては、かなり期待しているところもあります。連携してトータルで、中野市をどう扱っていくかという視点でですね、私はこれからも、考えていきたいと思っています。

これで、回答になるかどうかあれなんですけれども、まだ、市長に就いたばかりで、実は明日かな、9市町村の長の会議が初めて持たれるんですが、実は私、初めて出るんですけれども、そこに出て管内の首長さんと話してこようかなと、そういうふうに思っております。

逐次、こうした動きに関しましては、情報公開しまして、何らかの形で、皆さんに即伝わるようにしていきたいと思っています。以上です。

○議 長： はい、ありがとうございました。
次に総務部長さん、お願いします。

○総務部長： 今のご質問の関係でございますけれども、いま市長が申し上げたとおりなんですけれども、替佐駅につきましては、いわゆるモデル地域の、中心的な位置関係にあると、つまり高野辰之記念館とか、もみじ荘とか、いま言われた替佐城址ですとか、そういった、最寄りでもあるし、また豊田支所、文化センター、それからスポーツ施設なんかの最寄りの駅でもあるという事で、まさしく豊田地域の玄関的な、位置付けではないかと思っております。

そんな上で、新幹線の関連はどうかという、ご質問でございますけれども、やはり新幹線の飯山駅ができますと、飯山線の利用客もかなり顔ぶれが、少し変わってくるのではないかなとそんな気がします。つまり、長野駅方面からやってくる方だけではなくて、飯山駅で降りて、リュックサック背負って、やってくるという方も、相当数いらっしゃるんじゃないかという事でございますので、それらの受け皿的な可能性が強くありますので、それにつきましても見据えて、振興していかなければならないというように考えております。

○議 長： はい、ありがとうございました。●●委員。

○委 員： はい、ありがとうございました。なかなかきつと飯山駅の利用者が、どの程度になるのか、これもまた見通しも、なかなか大変なものだと思いますが、あの替佐駅とすれば、できるだけ他の所から、地理不案内の人が来た場合でも、戸惑わないような親切な、いろいろ案内だとかできればと、誰しもが思うわけなんで、話しに聞いているには、替佐の駅を降りただけど、高野辰之記念館に行きたいと思っただけけれども、バスもなければタクシーもなくて、何でもなくて、どうやって行ったらいいんだって、言われるお客さんもあるって話して、何人かに聞いたことがあるんですが、何かいい所へ、市の方で案内できるようなもの用意していただいて、親切に丁寧に、対応していただけるような方策を、考えていただきたいと思います。

今後とも、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議 長： いいですか。他にご意見ご質問ありましたら
はい、●●委員。

○委 員： ●●ですが、あの今たまたま観光の件で話がでたわけでございます

が、私たまたまJA北信州みゆきの関わりの中で、飯山の●●課長さんと話しをして、飯山の伍位野の辺に、飯山市は景観条例があつて、大きい看板が建てられないという事の中で、それをとにかく排除しながら、あその伍位野の辺に電光掲示板を作って、あそこにトイレを、3つ4つ作って、今日は雪だなあ、例えば、今はアスパラの時期だとか、何だとかって、そういうのを電光掲示板で、ぐるぐる回したらどうだって、ある業者が、俺銭出すから、それ作らないかという話しもしている。

その人いわく、中野市の中山晋平記念館から高野辰之記念館を通じた中で、そんな方向付けを持った中で、ひとつ取り込もうじゃないかという話しがあつたわけですが、まさに、中野市の場合には、信州中野インターチェンジからかなりの車が降りるんだと。

そんな形で、いま●●委員さんがおっしゃったように、道しるべをしっかりと作って、電光掲示板とはいかなくても、そんなような方向で、中野と飯山が一体になって、ひとつ進んでいただければ、かなり誘致ができたり、それぞれ上今井駅や替佐駅も、利用できるんじゃないかなど、こんな事を、要望で申し上げたわけですが、回答はいりませんが、ひとつ飯山市と中野市が、表裏一体になって進めていただければ、かなりいい方向に進み、多くの皆さんに来ていただくと、人が来ることによって、タバコ1箱買ってもらった、ジュース1本買ってもらった、すべて収入に上がるんだなど、こんな思いの中で、要望を申し上げたわけですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

- 議 長： はい、じゃあ答弁はよろしいですか。はい、他にご意見ご質問がありましたら、お願ひをします。
- ないようですので、よろしいですか。次に、進ませさせていただきます。
- 第5教育福祉の地域づくりについて説明をお願ひしたいと思います。
- それでは、健康福祉部長さん、説明をお願ひします。

- 健康福祉部長： 第5教育福祉の地域づくりのうち、(1)でございますが、若者の結婚問題について社会福祉協議会、その他協力団体と連携して多くの若者が結婚に至ることができるような施策を、ということでございますが、社会福祉協議会に委託させていただきまして、結婚相談あるいは各種の参加型交流イベントを、開催させていただいておるところでございますが、12月末現在では、結婚相談が6件のうち、豊田地域の皆さまには、3件の相談をいただきました。参加交流型イベントという事で、12月末までに2回完了いたしております。

1回目は、16名のうち2名の皆さん。2回目は31名でございましたが、豊田地域からはございませんでした。この後、年度内には、もう2回ほど計画させていただいておりますので、全体では4回の開催をさせていただきたいとこんなふうに考えておりますご参加いただいた皆様からは、社会福祉協議会という主催団体なので安心して参加できるだとか、あるいは民間業者への参加よりも金額的にも内容的にもあるいは男女のバランスだとか、細やかな配慮をしていただいておりますというようなご意見もいただいております、今後ともぜひ、社会福祉協議会の皆さんによる、この事業を継続ご尽力を継続していただきたい等々のご意見もいただいておりますところから、次年度以降も、計画的な事業進捗に努めてまいりたいとこんなふうに考えております。以上でございます。

○議 長： はい、ありがとうございました。
それでは、続いて教育次長さんお願いします。

○教育次長： よろしく申し上げます。
(2)小中学校の再編については、地域住民の意見を尊重し均衡ある発展に配慮されたいということでございます。回答につきましては、22、23年で市民教育懇話会を実施して、ご意見をお聞きしてまいりました。その後、昨年9月に中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会を25名の委員さんで設置して、現在審議していただいております。現在までに、審議会を3回行いました。4回目は、今週2月8日に開催する予定でございます。各委員さんが、少子化時代の中野市教育のあり方等を、議論していただいております。任期は2年間ということであり、その中で、結論、答申をしていただきたいという事であり、答申については、1クラスの人数、1学年クラス数等を予定しておりますが、その答申に基づいて、教育委員会が今ある学校等について、基本方針を出していくという事しております。以上でございます。

○議 長： はい、ありがとうございました。
ただいま、第5教育福祉の地域づくりについて、説明をいただいたわけですが、これについて、ご意見ご質問がありましたら、お願いをしたいと思います。

○委 員： はい、お願いします。

○議 長： はい、●●委員どうぞ。

○委 員： ●●です。よろしくお願いします。

(2)であります。いま申されたように、適正規模の審議会を行われているそうなんですけれども、適正規模の審議は審議としまして、学校の中に、いろんな選択肢がありまして、信濃町では小中一貫とか、中高連携して中高一貫とか、いろんな選択肢があると思います。ただ、人数の適正も分かるんですけれども、いろんな事を考えながら、いろんな選択肢を考えながら、これから考えていっていただきたいと思います。要望です。

○議 長： いいですか、はい、他にありませんか。よろしいですか。

よろしければ、以上をもちまして、豊田地域の振興に関する意見書に係る事業の進捗状況について、説明及び質疑を終わりにさせていただきます。

(2)その他

○議 長： それでは(2)のその他についてを、議題としたいと思います。

初めに、私の方から一点お願いをいたします。委員の皆さまにおかれましては、本日が任期最後の会議になろうかと思えます。この委員会としての2年間の経験から、ご意見がありましたらお願いしたいという事で、過日委員の皆様には照会いたしましたところ、1件の意見を●●委員の方からいただいております。それつきまして、●●委員から説明をいただければと思いますが、よろしくお願いします。

○委 員： はい、●●です、よろしくお願いします。

皆さん、大勢出してくださると思っていたら、俺きりであれなんですけれども、合併をして、この3月で8年という事で、合併協議をした時に、中野市の人口47,700人と推定された10年後が、微減という事で、わずかに減っているという想定のもとで、8年が経つところで45,000人という事で、約6%人口が減少しておりますという事を、中野市だけの問題ではなくて、全国といえればそれまでなんですけれども、やっぱり人口減に対して、どんな施策があるか、こんな事をお聞きしたいと思えます。

全部いいですかね。はい、それと地域から若者がいなくて、高齢化が進んでくると、若者がいない原因というのは、おそらく通勤、要するに、仕事が近くないと通勤圏内、通勤するところが今度遠くなっちゃうから、この地に住まなくなっちゃう。それと、ここに居ても、

何か産業がない。例えば、農業にしたって例えば、うんと物が売れば、農業も続けていくんだけれども、という事で、いろんな職種に移ってしまうと。ここらへんを、何か施策はないかなと、こんなことをちょっと思っています。

それと、先ほどちょうど市長さんはじめ、お話しされて、とにかく北信地域の定住圏構想ですかね、このへん素晴らしい事だと思って、先ほど市長さんから思いのほどを聞いて、非常に感激したわけですがけれども、こういった事を本当に進めて、いろんな人が来ていただける、住んでいただける中野市にしていって、いただきたいかなと思っています。

○議長 長： はい、ありがとうございました。それでは、この回答を総務部長さんと、経済部長さんに、引き続きお願いしたいと思いますが、よろしくをお願いします。

○総務部長： それでは私の方から、最初のご質問と、3番目のご質問について、お答え申し上げたいと思います。

人口減少について、という事でございまして、ご質問の内容にございますように、全国的な傾向では、あるわけでありましてけれども、減る理由とすれば、いわゆる子供さんが少ないという少子化の関係、それから人口の流出というような社会的な要因もあろうかと思えます。

これらにつきましては、私も非常に難しい、そういった問題になろうかと思えます。特に、人口減少の中でも、年少人口と生産年齢人口が減少していて、高齢化の人口の関係でございましてけれども、日本全体的な傾向でございまして、国や県、市町村でもそれぞれ対策を進めていますけれども、その流れを急に喰い止めるというような、即効性のある対策というのは、非常に難しい現状じゃないかと思っております。

いま中野市の中では、計画的に基本計画の中で重点としておりますのは、市民生活の優先、行政と市民との協働、安全、安心を感じられる施策の展開という事の中で、特に、暮らしやすさに重点をおいた、福祉とか医療、子育て等の施策に、今まで特に力を入れてきたところでございます。また、世代的なセーフティーネットというような事の中で、国民健康保険の安定的な運営とか、あるいは健康になってもらう生活習慣病予防、乳幼児の医療の改善、そういったような事を実施しながら、それぞれ暮らしやすさがアップするよという事で、進めてきております。

また、特に子供さんが暮らしやすいと言いますか、多くのお子さん

を産んでいただけるようなそんなことで、保育料の多子軽減とか、あるいは乳幼児の健診のさらなる実施とか、そういう事を、実施してきておりまして、こういった市民生活が安定化することで、人口の減少に少しでも歯止めがかかるような、そんなことでおります。

人口が、一部の都市を除き、減少傾向ですけれども、これ検証する、あるいは人口が増えるに関わらず、そういった暮らしやすさ、あるいは、より良い環境そういったものを作り上げるということが、大変必要でございますので、こういった民生上のソフト面を含め、都市基盤的なハードな面も含め、それぞれ整備されていって、この地域の暮らしやすさがグレードアップしていくという事が、市全体の発展に繋がっていくと考えておりますので、よろしく願い申し上げたいと思います。

それから、3番目の関係の定住自立圏の構想のように、北信管内で協力して、それぞれタッグを組んで、素晴らしい地域になるには、そういった活動をもっとというご意見ございますけれども、定住自立圏構想につきましては、すでにご覧のとおり6市町村で協定を結びまして、それぞれ役割分担をしていこうということで、話し合いがされております。

先ほどお話ししましたけれど、この地域の定住条件、暮らしやすさ、医療そういったものを底上げしていくという事の中で、この地域の医療資源や福祉資源、そういったものを活用できるような、施策に重点においてきております。今年度から、具体的なビジョンに基づいて、政策を進めておりますけれども、新しい北信地域の連携方策の第一歩という事になるという事で、進めておりますので、よろしく願いしたいと思います。

特に、この定住自立圏の中には、いわゆる道路とかそういった都市基盤、箱物であるとか、そういったいろんな施設、そういったものを、より有効に利用していこうというようところが根底にございます。また、そこに住んでいらっしゃる方の力といいますか、人的な資源、そういったものも市町村を超えて、より有効に結び付くようにと、そういう考えもございますので、そんなところをいかに6市町村で、話し合いながら、進んでいければと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

○経済部長： それでは、働く場所の確保あるいは産業の育成という事で、ございますけれども、今日ご覧のとおり工場を誘致して、働く場所、いわゆる就労の場所を確保するという事については、なかなか難しいものがありまして、中には、海外に拠点を移してしまう、工場を移してしま

う、という事業所も多いわけでございます。

そんな中で、私ども中野市とすれば、この豊田地域に限ったお話しはできませんけれども、今ある企業の皆さんには、なんとかこの地域に引き続き残っていただきたいという施策が非常に大きな柱となっているところでございます。そんな中では、企業の皆さまにも、各種ご支援を申し上げてきている経過がございます。

一例を申し上げますと、中小企業の皆さんが、自分の工場といいますか、企業の製品をPRするために、いろいろな催しもの所へ出展をなさって、PRするわけでありますけれども、そのブース代に対するご支援もさせていただいておりますし、市内企業の皆さんが、新しい技術あるいは新しい製品を開発していくという事に対する、ご支援もさせていただいております。

新しいものを作るという事になれば、当然リスクも生じるわけでございますから、そういうものにリスクの軽減のためにも、ご支援をさせていただいている。また、特許等を取得する際には、それなりの費用も掛かりますから、そういったものにもご支援させていただいているところでございます。また、直線的に申し上げれば工場の拡張あるいは増設、中には設備の更新と拡大、機能増進という事になるかと思いますが、そういったものに対する、工場設置事業に対する補助というものがございまして、それぞれ、ご案内かとは思いますが、高丘地区の工場につきましては、1期、2期の増設を、ご予約をいただいているところでございますが、現時点で1期、2期の方はまだ手がついておりませんが、1期の建屋が完成したという事で、まあ1期も100%稼働にならないかもしれませんが、そういったところで、社員の皆さんの拡大といいますか、人数募集等もそれなりになるのではないかとこのように期待しているところでございます。

また、冒頭でも申しましたけれども、この地域、中野市は、農業とキノコを含めた農業が、産業の柱となっているわけでございます。その農業、とりわけキノコに関しては、企業的な経営をさせていただいておりますから、やはり1,000人、2,000人の皆さんの、働き場所が確保できるというふうに、私どもとすれば見ておりますから、そういったキノコの生産振興等につきましても、積極的に取り組んできているところでございます。今後とも、そんな姿勢で、進めていきたいと考えておるところでございます。以上でございます。

○議 長： はい、ありがとうございました。●●委員よろしいですか。

○委 員： はい、ありがとうございました。私が、この文章を書いた中に、と

ある首長選挙の中で、とある候補が言われた事がございます。この中野市じゃなくて、他の市町村なんですからけれども、とにかく今人口減少している時代は当たり前なんだけれども、人口減に何とか対策を打ちながら、対応していくという、お話しを聞きまして、なるほど、人口減ってもしょうがない時期に人口対策をするという、ここらへんの発想はすごいかなという事に触発されて、このような文章を書かせていただきました。

非常に抽象的といいますか、捉えどころがないんですけれども、ちょっと頭の中に入れていただきながら、施策をしていただきたいかなと。最初から、駄目だと思ってやる事と、やろうとしてやる事と、ちょっとまた、やり方が違ってくるんじゃないかなと、こんなふうに感じましたので、今日はどうもありがとうございました。

○議 長： はい、●●委員よろしいですか。

○委 員： はい。

○議 長： はい、これですべての議題は終わったわけですが、その他で皆さんの方から何かございましたら、お出しをいただきたいと思っております。よろしいですか。

○委 員： はい、ちょっといいですか。

○議 長： はい、●●委員。

○委 員： 大変失礼ですが、市長さんをお願いするんですが、2市1町3村かい、その連合長というんで、ひとつリーダーシップしっかり頑張っていて、さっきの観光じゃないが、とにかく、北信広域連合でひとつ、しっかり頑張っていたら、かなりいい資源もいっぱいあるんで、ひとつしっかり頑張りたい、そんな事をお願いを申し上げますが、よろしくお願ひします。

○議 長： 他に、皆さんの方からございましたら、お出しをいただきたいと思ひます。

それでは、ないようですので、大変長時間に渡りまして、皆さんにご協力いただきまして、無事会議を終わらせていただく事ができました。心から市長さんはじめ、ご参加いただきました各位に感謝を申し上げます。ここで議長を降ろさせていただきます。大変どうもあ

ありがとうございました、ご苦労様でした。

5 その他

○豊田支所長： ありがとうございました。次に、5のその他でございますが、委員の皆さんから何かございましたら、お願いをしたいと思いますが。よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方から、お知らせがございますので、お聞きいただきたいと思ひます。

○地域振興課長： 【事務連絡】

6 閉 会 【豊田支所長】